

まちの日記帳



親子で楽しくクッキング —子どもの成長を実感— 6/21

料理づくりを通じ、親子の関わり方を再認識することを目的とした第1回親子ふれあい塾「親子でクッキング」が総合文化センターで行われました。10組の親子が参加し、町食生活改善推進委員会（越谷玲子会長）の会員5名の協力のもと「フルーツチョコ白玉」と「グリーンケーキ」を作りました。グリーンケーキは「ほうれん草」を細かくして混ぜたもので、とても鮮やかに仕上がりました。参加者からは「普段見るのではない我が子の真剣な姿に成長を感じることができた。」など聞かれ、有意義な1日を過ごしました。



歯の健康は、体の健康 —今年のよい歯は129人— 6/23

積丹町子どもの歯を守る会（尾立光会長）の主催による「第22回よい歯の子・8020表彰式」が総合文化センターで行われました。表彰されたのは幼児23名、小学生67名、中学生37名の合わせて129人。そのうち、全く虫歯になつたことがない「健全歯」の子は23人でした。また、80歳以上で、20本以上自分の歯を持っている8020表彰では、2名が表彰され、野塚町の木下お仙さん（82歳）は元気な姿で表彰式に出席されていました。



水難救助訓練全道大会 —美国救難所が総合第3位— 7/9

（北海道漁船海難防止・水難救助センター主催による「海難防止全道大会」が石狩市の石狩湾新港東ふ頭で開かれました。積丹町からは美国救難所（神哲治所長）と積丹救難所（澤信一所長）が参加し、ゴムボート操法、救命索発射器操法、心肺蘇生法の3種目で日頃の訓練の成果を披露し救難技術を競いました。ゴムボート操法では積丹救難所が1位、美国救難所は3位の成績をおさめ、総合成績では美国救難所は3位に入賞し、厳しい訓練の成果を喜び合っていました。

平成21年度 漁船海難防止・水難救済センター全道大会出場者

【救命索発射器操法】

〈美国救難所〉 田村 努（美国）
長内春樹（幌武意）
加藤弘一（美国）
加藤健一（幌武意）

〈積丹救難所〉 杉野秀幸（日司）
大川靖夫（日司）
佐藤豊樹（日司）
佐藤正樹（余別）

【ゴムボート操法】

〈美国救難所〉 白川浩治（美国）
嶋田雅彦（美国）
入間川秀則（美国）
加藤孝義（美国）
加藤博明（幌武意）

〈積丹救難所〉 角田拓也（余別）
飯田浩紀（余別）
澤 貴幸（余別）
柏崎祐毅（来岸）
友杉共見（余別）

【心肺蘇生法】

〈美国救難所〉 本間寿樹（美国）
佐藤智治（美国）
小林強太（美国）

〈積丹救難所〉 佐藤義美（日司）
佐藤翔太（日司）
大島朗謹（日司）

（敬称略）



ゴムボート操法競技
（美国救難所）

㈱ペニンシユラ従業員

7/1

「救命講習会を実施」

㈱ペニンシユラ（佐藤勝次社長）は積丹消防職員を講師に救命講習会を行いました。

消防職員より応急処置に対する講義を受けたあと実際にタミー人形を使用した心肺蘇生法を行い、いざという時に落ち着いて対応できるように額に汗を浮かべながら体験していました。

また、ペニンシユラには急性心筋梗塞などのために心肺停止（心室細動）状態となった人に対し、心臓への電気ショックを自動的に行う装置「AED（自動体外除細動器）」が設置されており、使用方法について講義を受けました。



積丹観光協会が輪厚パークキング

7/11~12

積丹観光PR！効果期待

積丹観光協会（佐藤勝次会長）

は、高速道路の『ETC土日割引』の利用者を対象に、輪厚パークグエリア（下り線・札幌方面）で積丹町のパンフレットに「どこにいざ頭」「町内の割引券」を付け2,000部配付し、積丹のPRを行いました。

これは、NEXCO東日本との協力により行われ、ホームページなど情報が飛び交うなかで、原点に戻り、人とのふれあいを行いながら直接、「生の声」で「積丹町」を呼びかけるPRも必要ではないかとの観点から行われました。



「ヘルスアップ教室」ラフォーアップフルディックウォーキング体験

7/15

昨年、住民健診を受診して生活習慣改善が必要で、教室参加を希望された方を対象として行われた「国保ヘルスアップ教室」の参加者に対し、運動するモチベーションを再び引き起こすためのフォーアップ教室が、町海洋センターで行われ、「フルディックウォーキング」の講義と実技体験を行いました。

この日の参加者は6名で「普通に歩くより、膝が楽」、「姿勢を良くして歩ける」などの感想が聞かれとても好評でした。実技体験のあとは参加者全員に修了証書、個別成績表が手渡されました。



国・道・町が相互連携へ

7/9~10

「森林整備推進に共通認識を」

石狩空知管内の森林管理署、道関係機関、森林農地整備センター、町の職員31名が一同に会し、それぞれの機関の平成21年度事業計画や進捗状況などの情報交換などを行う検討会が当町を会場に開催されました。

現地検討会は、昨春秋に森林整備協定を締結した共同作業団地である婦美分収造林地（丸山地区）で行われ、連携する作業道の個所や施工中の間伐状況を視察し、今後更に相互が連携して森林の持つ公益的機能の向上や低コスト施策を目指した森林整備を推進していくことを確認しました。



まちの日記帳